

社会福祉法人 八葉会

2022（令和4）年度 事業報告

2023（令和5）年5月23日

理事長	大門	今津	赤坂	東深津
				

(1) 運営		
1 設置名	社会福祉法人 八葉会	
2 代表者	理事長 金永 恵美子	
3 本部所在地	広島県福山市大門町大門325番地	
4 施設	幼保連携型認定こども園 大門未来園（1978年4月1日開園）	福山市大門町大門60-2
	幼保連携型認定こども園 今津未来園（2011年4月1日開園）	福山市今津町6丁目2-5
	認定こども園 赤坂未来園（2016年4月1日開園）	福山市赤坂町赤坂337
	小規模保育所 未来園東深津（2021年4月1日開園）	福山市東深津町3丁目3-14
5 事業内容	第2種 社会福祉事業 (イ) 幼保連携型認定こども園の経営 (ロ) 一時預かり事業の経営 (ハ) 地域子育て支援拠点事業の経営 (ニ) 小規模保育事業の経営	
6 理念	基本理念 智慧を未来へ この子にとって より良い環境を創造し 大切な智慧を育てる 行動指針 ・元気に挨拶 明るい笑顔 ・周りをよく見て 進んで行動 基本方針 ・子どもが安心して生活できる環境を創る ・子どもたちのもつ無限の可能性を引き出す ・保護者との信頼関係を大切に、共に育つ 目標 困難に立ち向かえる強さと、人の痛みわかるやさしさをもつ子どもを育てる ・心身ともに健康な子 ・身のまわりの事を自分でできる子 ・人の思いを感じられる子 ・いきいきと自分を表現できる子 ・自分で考え、進んで行動できる子 ショルダーフレーズ 未来（あした） はばばたくこの子を今日まもって一緒に歩く	
7 中期事業計画	計画別紙1	
8 理事会・評議員会・評議員選任・解任委員		報告別紙1
	・6月8日に理事1名、監事1名、評議員選任・解任委員1名の交代があった。 ・3月16日に理事長の交代および理事1名、評議員選任・解任委員の1名の交代があった。	
9 監査	① 監事監査 5月13日、12月20日・12月27日に実施された。 ② 内部監査 各園の内部監査人（副園長・指導保育教諭・副主任）が各園を2回ずつ訪問し、保育室や書類の確認をし、運営が適正に行われているか監査した。7月4日・12月10日（大門）7月21日・12月2日（今津）7月19日・12月17日（赤坂）7月5日・12月14日（東深津） ③ 行政監査 ・保育指導課の立入監査が、9月6日（大門）9月1日（今津）9月6日（赤坂）11月8日（東深津）に実施された。 ・福祉総務課の立入監査が、大門未来園で1月26日に実施された。 ④ 外部監査 なし	
10 法人移管	なし	
11 新規施設	なし	

(2) 職員

1 事務分掌

2 職員数 3月31日現在。(非常勤及び派遣職員は常勤換算して算定する。育休・産休職員も含める。)

	大門未来園						今津未来園					
	園長・副	保育教諭	調理員	事務・他	学校医	計	園長・副	保育教諭	調理員	事務・他	学校医	計
正規	2	17	3	1		23	2	13	1			16
常勤		2				2		7	2	1		10
非常勤		6.8	0.6		③	7.4		7.9	0.4	1.5	③	9.8
派遣						0		3	0.8			3.8
計	2	25.8	3.6	1			2	30.9	4.2	2.5		

	赤坂未来園						未来園東深津					
	園長・副	保育教諭	調理員	事務・他	学校医	計	園長・副	保育士	調理員	事務・他	嘱託医	計
正規	2	13	1			16	1	4	1			6
常勤		2				2		1				1
非常勤		5.4	1.9	1	③	8.3		1.1	0.2	0.5	②	1.8
派遣		1				1		0.4				0.4
計	2	21.4	2.9	1			1	6.5	1.2	0		

3 職員異動

	大門未来園												今津未来園											
	採用		育休取得		育休復帰		転換		異動		退職		採用		育休取得		育休復帰		転換		異動		退職	
	当初	中途	継続	中途	当初	中途	増	減	増	減	中途	末日	当初	中途	継続	中途	当初	中途	増	減	増	減	中途	末日
正規	3				4	1					1		2		1	1		1			3	1	1	1
常勤							1														1			3
非常勤		1			1					1	1		2		2		1				2		2	
派遣													1	3									1	1

	赤坂未来園												未来園東深津											
	採用		育休取得		育休復帰		転換		異動		退職		採用		育休取得		育休復帰		転換		異動		退職	
	当初	中途	継続	中途	当初	中途	増	減	増	減	中途	末日	当初	中途	継続	中途	当初	中途	増	減	増	減	中途	末日
正規	2	1	1					1					1								2			1
常勤								1																
非常勤		1							1				1										2	
派遣		1											1											1

4 職員処遇

- ・人事院勧告により基本給0.8%の引き上げを行い、4月に遡り支給した。
- ・臨時特例事業による補助金が9月まで支給され、その後、運営費で処遇改善手当Ⅲとして支給されている
- ・時間外手当の算定方法が変更となり、9月に遡り支給した。
- ・施設間の職員異動があったため、賞与引当金の繰入を行った。

5 職員採用

- ・6月から採用試験を毎月第3土曜日に各園持ち回りで実施し、保育教諭1名・栄養士1名採用した。
- ・常勤臨時職員4名が採用試験を受験し、正規職員に転換した。

6 職員研修

- ・新人職員と中堅職員を対象とした職員資質向上研修（1講座3時間×5回）を株式会社パソナに委託し行った。内容は、接遇マナーや運動あそび、療育支援など、実践に結びつくもので、日々の業務に生かすことができた。同じ講師と受講者で行うため、前回の研修とその後の業務を振り返りなどフォローアップもできた。
- ・コロナ禍であったため、オンライン研修が多かった。オンライン研修の内容も充実してきており、勤務形態や職種に関わらず多くの職員が受講することができた。
- ・八葉会研修はこれまでと同様に行った。それぞれの園で同じ学年の担当者が互いの保育に参加し、意見交換をしながら学ぶ機会をもった。また、開催園では園内研修も兼ねて多くの職員の学びの場となった。

7 会議

- ・例年通り、各園で職員会議・保育会議・給食会議・イマコ会議が定期的に行われた。
- ・経営会議・未来へ会議・主幹会議も月1回に行い、情報共有や意見交換が活発に行われた。

8 第三者評価・自己評価

各園でグループに分かれ、園の取り組みや課題について話し合い自己評価を行った。内部監査人（副園長・指導保育教諭・副主任）が各園に行き、グループリーダーから評価結果の聞き取りを行った。各園の強みや弱みを知る機会となり、その後の取り組みに生かしている。

(3) 施設

- | | | |
|----------|--------|--------------------------------------|
| 1 特別保育事業 | 大門未来園 | ・延長保育・障がい児保育・休日保育（一時預かり・子育て支援） |
| | 今津未来園 | ・延長保育・障がい児保育・一時預かり・地域子育て支援センター・児童クラブ |
| | 赤坂未来園 | ・延長保育・障がい児保育・一時預かり・地域子育て支援センター |
| | 未来園東深津 | ・延長保育・障がい児保育（一時預かり事業） |

- | | | |
|------|--------|---------------|
| 2 定員 | 大門未来園 | 140名（うち1号10名） |
| | 今津未来園 | 150名（うち1号10名） |
| | 赤坂未来園 | 100名（うち1号10名） |
| | 未来園東深津 | 19名 |

3 教育及び保育日数

- ・大門未来園は全日開園（365日）
- ・今津未来園・赤坂未来園・未来園東深津は月～土曜日（日祝祭日を除く297日）

4 教育及び保育時間

	開園時間	7時 00分	～	19時 00分					
2号 3号	標準時間	7時 00分	～	18時 00分	短時間	8時 00分 ～ 16時 00分			
	延長保育	18時 00分	～	19時 00分	延長保育	7時 00分 ～ 8時 00分 16時 00分 ～ 19時 00分			
1号	設定教育時間	9時 00分	～	13時 00分	長期 休み	夏休み	8月 1日	～	8月 31日
	預かり保育	7時 00分	～	9時 00分		冬休み	12月 24日	～	1月 6日
		13時 00分	～	19時 00分		春休み	3月 27日	～	4月 6日

5 年齢別児童数(実際) ()1号

	大門未来園			今津未来園			赤坂未来園			未来園東深津		
	4月	10月	3月	4月	10月	3月	4月	10月	3月	4月	10月	3月
0歳児	5	14	18	8	14	24	2	7	9	0	6	6
1歳児	20	22	22	23	23	23	16	18	18	4	10	9
2歳児	21	23 -(1)	24 -(2)	22	22	23	20	22 -(1)	22 -(1)	5	6	6
3歳児	26 -(3)	26 -(3)	25 -(3)	26 -(4)	26 -(4)	26 -(4)	21 -(2)	21 -(2)	21 -(2)			
4歳児	26 -(3)	27 -(3)	27 -(3)	27 -(2)	26 -(2)	26 -(2)	24 -(4)	24 -(4)	24 -(4)			
5歳児	26 -(6)	26 -(6)	26 -(6)	24 -(5)	25 -(5)	25 -(5)	24 -(2)	24 -(2)	24 -(2)			
計	124 -(12)	138 -(13)	142 -(14)	130 -(11)	136 -(11)	147 -(11)	107 -(8)	116 -(8)	118 -(8)	9	22	21

6 全体的な計画

計画別紙2

7 教育及び保育計画

8 教育及び保育連合

9 給食・食育

報告別紙2

10 年間行事

計画別紙3

- ・コロナウイルス感染予防のため、運動会や発表会、参観日など保護者参加の行事は、検温や手指消毒など徹底した。また、参加人数の制限、日程や場所など分散するなど、各園が工夫して開催した。内容や流れを変えたため、それぞれ課題もあったが、変更したことで活動の幅が広がったり、子どもの様子をしっかりと見てもらうことができた良かった点もあった。
- ・子どものみの行事も年齢別に分けて行うことが多かったが、年齢に合わせた内容でのびのび活動できたなど、実施してみて良かった点もあった。

11 子育て支援事業

コロナウイルス感染予防のため、予約制にするなど人数制限をしながら開催した。少人数で活動がゆったりできたなど、良かった点もあった。検温や手指消毒など徹底し、園内でコロナウイルスが発生した場合は中止することもあった。

12 児童クラブ(今津)

- ・小学1年生から6年生の児童を対象に、春・夏・冬休みの期間のみ児童クラブを開設した。今津学区の子どもを優先し、また希望する職員の子どもも預かった。コロナ禍で一部利用を制限することがあったが、27名が利用した。
- ・子どもたちは、製作活動や戸外あそびなど好きな遊びを楽しみ、学校の宿題も行った。また、園の周辺を散歩したり、地域の行事に参加したりするなど地域交流も行った。
- ・学習に集中できない子への配慮やトラブルが起きた時の対応などについて、職員同士話し合う機会があまり持てなかった。

13 休日保育(大門)

- ・日曜日・祝日などに保育を必要とする1歳～5歳児の子どもを対象に休日保育を行った。
- ・コロナ禍で予約キャンセルもあったため、前年度より延べ30名ほど減少したが、延べ396名が利用した。
- ・今後も積極的に広報活動を行い、利用者数の増加を目指す。
- ・各園の職員から勤務希望者をつのり、出来るだけ多くの職員に出動してもらえるよう、担当職員が4園の職員会議にて呼びかけを行った。

収入	運営費収入	4,801,400	支出	人件費	2,950,586
	園児給食代	53,500		給食材料費	186,104
	収入計	4,854,900		水道光熱費	611,098
収支差額		1,107,112	支出計		3,747,788

14 安全点検及び防災対策

- ・園児死亡事故のニュースを受け、行方不明防止・発生対応マニュアルと緊急時対応フローチャートを作成し、職員全員で読み合わせ周知徹底した。
- ・園内の安全点検は月1回、担当者を中心に職員が行っている。大型遊具の安全点検は年1回、業者による点検を行っている。
- ・防災防犯訓練は月1回、様々な状況を想定した計画を立て実施している。

15 保健衛生

- ・医科・歯科健診は年に2回行い、尿検査や視力・聴力検査も行った。
- ・職員や園児・保護者の手指消毒や検温の徹底を呼びかけ、園内の消毒や分散して保育活動を行うなどコロナウイルス感染予防に努めた。

16 地域交流

コロナウイルス感染予防を行いながら、地域行事への参加・小学校交流・ほいくの園など可能な範囲で交流を行った。大門は3年ぶりに幼年消防クラブのステージに出演し、リーデンローズで組体操を披露した。

17 実習・ボランティアの受け入れ

実習やボランティア活動の受け入れを積極的に行っているが、ここ数年はコロナ禍のため希望者が減少している。6月に理事長と園長が、保育士を養成している大学を訪問し、保育士の募集状況を伝えた。

18 保護者・苦情

報告別紙3

19 各園の事業計画の反省

報告別紙4

(4) 事務・会計

1 事務全般

- ・新たに導入した会計・給与ソフトにより、業務効率が向上した。
- ・コロナウイルス感染症による職員の休業が多くあり、労働局の支援制度などを活用し、雇用維持に努めたが、事務作業量が膨大となった。
- ・事務職員の内部監査・業務マニュアルや内部統制機能の整備はできなかった。また、情報共有と相互確認機能の方法を再度見直ししていく。

2 歳出

① 人件費 大門未来園 (66%)、今津未来園 (69%)、赤坂未来園 (60%)、未来園東深津 (60%)

② 施設整備・固定資産取得・契約

報告別紙5

③ 法人内借入・繰入

- ・本部繰入金 … 大門未来園 (18万)、今津未来園 (18万)、赤坂未来園 (18万)、未来園東深津 (6万)
- ・施設間借入金 … 未来園東深津から大門未来園へ施設整備借入金の返済 (350万円)
- ・施設間流用 … 処遇改善手当ⅠⅡ・臨時特例補助金の施設間調整。前年度処遇改善手当Ⅰの清算のための施設間清算。

④ 借入金償還

- ・福祉医療機構へ返済 … 大門未来園 (183万円)、今津未来園 (459万円)、赤坂未来園 (288万円)

⑤ 積立金

- ・施設設備積立金 … 大門未来園 (2,500万円) 今津未来園 (1,000万円) 赤坂未来園 (1,000万円) 東深津 (200万)
- ・人件費積立金 … 大門未来園 (600万円)、赤坂未来園 (500万円)、東深津 (300万円)

① 理事会

日時	場所	理事	監事	議案・報告
2022/5/20	大門未来園	6/6名	2/2名	第1号 臨時職員の任用規程の改定について 第2号 2021（令和3）年度 第三次補正予算について 第3号 2021（令和3）年度 事業報告について 第4号 2021（令和3）年度 決算について （計算書類及びこれらの付属明細書並びに財産目録） 第5号 役員（理事・監事）候補者の選定について 第6号 評議員選任・解任委員の選任について 第7号 定時評議員会の招集について ・監事監査について ・理事長の職務執行状況報告について
2022/12/15	大門未来園	6/6名	2/2名 (1名リモート参加)	第1号 就業規則の改定及び育児・介護休業等に関する規則の制定について 第2号 2022（令和4）年度 第一次補正予算について 第3号 臨時評議員会の開催について ・理事長の職務執行状況報告について
2023/3/16	大門未来園	6/6名	2/2名	第1号 給与規程の改定について 第2号 2022（令和4）年度 第二次補正予算について 第3号 理事候補者の選任について ・行政監査について ・監事監査について
2023/3/16	大門未来園	6/6名	2/2名	第1号 理事長の選任について 第2号 評議員選任・解任委員の選任について 第3号 重要事項説明書の改定について 第4号 2023（令和5）年度 事業計画について 第5号 2023（令和5）年度 当初予算について

② 評議員会

日時	場所	評議員	議案・報告
2022/6/8	赤坂未来園	7/7名	第1号 役員（理事・監事）の選任について 第2号 2021（令和3）年度 決算について （計算書類及びこれらの付属明細書並びに財産目録） ・2021（令和3）年度 事業報告について ・監事監査について ・2022（令和4）年度 事業計画について ・評議員選任・解任委員の選任について
2023/3/16	大門未来園	6/7名	第1号 理事の選任について

③ 評議員選任・解任委員会

なし

大 門 未 来 園	<p>・基本理念・基本方針・目標に沿った保育内容が実施できた。</p> <p>・コロナ禍であるため感染拡大防止に努めながら、参観日や運動会、発表会、夏祭り会など保護者参加の行事は分散開催を行った。子どものみ参加の行事については、内容を検討し密にならない工夫をした。保護者には園行事の意義を丁寧に伝え理解していただいた。時期によっては開催ができなかった行事もある。</p> <p>・昨年度から始まった作品展も継続して行った。園全体で考えを共有し作品へ取り組んだ。各クラス色々なアイデアを出し合い親子で楽しめる内容の工夫を行った。園での様子を伝える良い機会となった。また、地域文化祭への展示、子育てサークル活動再開、ふるさと散歩、祖父母交流会など、少しずつ地域への広報や参加ができるようになり、子どもの経験の幅が広がった。</p> <p>・オンライン研修を積極的に行い、多くの職員が参加することができた。最新の情報をタイムリーに獲得できる上でとても有効だった。</p>
	<p>5歳</p> <p>運動会や発表会への取り組みとして、友だちと協力したり考えを出しあったりする活動を取り入れるように心掛けた。中でも発表会の劇では子どもたちで役の名前を決めたり、協力して台詞を言ったりして、協力しながら主体的に活動することができた。また、年長組として手伝い活動や会の司会など意欲的に行う姿が見られ、就学を意識した活動にも積極的だった。地域の活動（敬老会・学校体験など）に参加する機会がなかったのは残念だったが、園で話をしたり、学校ごっこなどに取り組むなどの工夫をした。</p>
	<p>4歳</p> <p>音楽発表会や劇あそびなどの行事や、転がしドッチボールなどルールのある遊びを通して、友だちとの関わりや友だちの思いに気付けることができた。また友だちと協力をしながら一つのことをやり遂げる経験も出来た。友だちとのトラブルはあるが、その度に気持ちを言葉で伝えるように繰り返し知らせてきた。なかなか自分の思いが通りにく意欲的になりにくい子どももいたが、少し友だち関係が安定してきたことで思いを伝えることができるようになった。</p>
	<p>3歳</p> <p>友だちとの関わりが増える時期なので、どういふうに友だちに思いを伝えたいのか一緒に考えたり、相手の気持ちにも気付けるよう声を掛けたりすることで、子どもたち同士で話をしようとする姿が増えた。身の回りのことも自分でできるようになっているので、丁寧さも加えて整理整頓などできるようにその都度知らせている。</p>
	<p>2歳</p> <p>個別に支援は必要だが、自分で出来ることが増えている。また、トイレでの排尿、布パンツへの移行ができるよう、トイレトレーニングをしてきた。身の回りの事を自分でしようとする習慣が少しずつついてきているように思う。友だちと言葉でのやり取りが増え、関わって遊ぶことを楽しむ姿が増えてきた。それに伴い友だちとのトラブルもあったが、保育教諭等が仲立ちしながら友だちとの関わり方を伝えている。個々で発達の姿は違っているので、引き続き、その子に寄り添った関わりを工夫していくことが大切だと思う</p>
	<p>1歳</p> <p>1年間を通して、できることが増えてきて、簡単な身のまわりのことを低月齢の子達も頑張ろうとする姿が見られるようになった。いろいろなことが習慣になってきている。友だちとの関わりもよく見られるようになり、友だちが困っていると手伝ってあげたり、声を掛けあそびに誘い、仲良くあそぶ姿も見られるようになった。</p>
	<p>0歳</p> <p>関わりをしっかりとつようにし、信頼関係・愛着関係を築いていった。後半くらいから、少しずつ子ども同士の関りも見られるようになった。家庭としっかり連絡を取りながら、離乳食から普通食（きざみ）に無理なく移行できた。歩行・発語なども子ども達の様子に合わせてながら対応するようになった。</p>
<p>給食</p> <p>食育では年齢に応じた内容で行い、様々な食材に触れる体験や食材調べなどをたくさん気付きを得られた。また、菜園活動を通して種まきから収穫までの期待感、生長での喜び、育てる大変さを感じながら多くの学びがあり、その後のクッキングに繋げて苦手なものでも食べられるようになる姿が見られた。誕生会メニューでの創作料理はまだ作ってみたことがないもの、行事にちなんだもの（ハロウィンプレートなど）に挑戦をした。</p>	
今 津 未 来 園	<p>・基本理念、基本方針、目標に沿って計画をし保育を行っていくことができた。子どもたちの気持ちを受け止めながら年齢や個々に合わせ職員で話し合いを重ね取り組みを行った。</p> <p>・コロナ禍ではあったが、子どもたちの経験が減ることが無いよう工夫しながら行事も行なった。行事も昨年度までは各クラスごとに時間短縮で行う事が多かったが、2022年度は運動会や発表会では2クラス同時開催し年齢の違うクラスの取り組みを保護者に見てもらい子どもの成長を感じてもらうことができた。</p> <p>また、地域の方との行事も少しずつ開催することができた。3年ぶりに幼年消防クラブの街頭広報活動ができ、子どもたちは街頭での和太鼓演奏と広報活動で緊張していたが、一般の方に見て頂き自信と誇らしい気持ちが持てよい経験になった。</p> <p>・小学校連携については今まではこちらから声掛けをして行う事が多かったが、今年度は小学校の方からも計画的にアプローチがあり積極的に行うことができた。</p>
	<p>5歳</p> <p>メリハリをもって過ごしながら甘えたり楽しめるように保育をした。コロナ禍で2年間さまざまな行事が中止となっており、なかなか意欲をもって取り組みなかったが少しずつ頑張る楽しさや達成感を感じながら意欲をもてるようになってきた。また、言葉の部分ではトラブルの際に定型文のようなやり取りだったがさまざまな気持ちを表す言葉を保育教諭等自信が伝えていくと子どもたちも言葉で伝えようとする姿があった。</p> <p>4歳</p> <p>年間を通して、意識する事、メリハリをつける事、考え試行錯誤することを繰り返し伝えながら関わってきた。個人差はあるが、子どもたちなりに意識、メリハリをつけ、友だちと考えあひながら活動に取り組むことが出来た。思いがぶつかり、友だちとトラブルになることもあるが、解決策を見つけ出しながら、遊びの発展も見られた。大人がすぐに関わってしまうよりも、時間はかかるが、子どもたちの経験が増え力になったと感じる。</p>

3歳	<p>まだまだ甘えたくてスキンシップを取りながら子どもたちの気持ちを満たせられるよう関わった。集団生活の中で友だちを意識し、生活のルールや遊びのルールを少しずつ身につけ、友だちの存在の大切さを感じることができるようになった。集団が難しい子には、それぞれ配慮しながら集団に入れる楽しさを感じれるようにしていった。友だちとのトラブルもあったが、子ども同士で解決しようとする姿も見られ、自分だけでなく相手の気持ちを理解する姿も見られた。</p>
2歳	<p>簡単な身の回りのことが自分でできるような保育をしていった。甘えから、保育教諭等にしてもらおうとする姿が見られたが、子どもに寄り添い励まししながら、自分でしようと思えるようにしていった。また、友だちとの関わりでは、自分の思いを言葉で伝えようとする姿が見られたが、自分の思いが譲れず、トラブルになる姿が見られた。その都度、保育教諭等が仲立ちし、友だちの思いを知ることができるようになっていった。</p>
1歳	<p>一人ひとりの甘えや欲求が満たせるよう、個々に合わせゆったりとかかわりながら、安心して過ごせるようにした。身の回りに対する興味や関心に合わせてあそびや玩具を用意したり、遊び方など変化させていながら安全な環境の中で、探索活動を楽しんだ。 また、保育教諭等が仲立ちとなって一緒に遊んだり、他児に関心もてるようにしながら、友だちとのつながりを楽しめるようにしていった。</p>
0歳	<p>月齢差があるので1対1でゆったりと関わりながら情緒の安定を図り安心して過ごせるようにした。離乳食は、保護者から家庭での様子を聞いたり本児の様子を見ながらそれぞれに合わせて徐々に段階を上げていった。発語も徐々に増えていたのでやり取りを楽しめるよう声掛けをしたり、音楽や絵本等を通して言葉の獲得ができるように促した。</p>
給食	<p>コロナ禍だったが、出来ないではなく衛生面に気をつけ、手袋をする、個々で作業するなどの工夫をしながらたくさんの食育活動が行えた。また、昨年とは違う各年齢にあった三色表のまとめをしたり、保護者への給食レシピの提供や魚の解体ショーでの給食室での取り組み(おやつができるまで)を写真にまとめ玄関に掲示するなど保護者に伝えることができた。</p>
坂 未 来 園	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念、目標にある強さとやさしさを持つ子どもを育てることを重点に取り組んできた。どの学年も友だちや保育教諭との関りを大切に保育を進めることができた。 ・行事については、コロナ感染状況により2部制・クラスごとなど工夫をして行った。プール参観はコロナが流行していたため、動画公開という方法で保護者の方に様子を見ていただいた。課題はまだあるが、このような方法も出来るということが分かり、今後改善していく。 ・園に隣接している小学校との連携を密に行った。小学校と合同避難訓練を行い、災害に対する意識を共有した。また、小学生や先生が園に行き来する機会も多く設け、交流を深めることができた。
5歳	<p>コロナ禍の生活の中で手洗いうがいが習慣づいてきた。 ルールのある遊びをする中で、友だちを思いやり、友だちの考えに気付けるような声かけをしながら必要に応じて仲介したり、自分の思いを言葉で伝え、相手の思いに気付けるように援助した。クラスで考える時間を作り、相手の立場になって考える機会も作った。</p>
4歳	<p>活動の前などにこれからすることの確認をする時間を設けて子どもたち自身が考えて行動できる環境作りを心がけた。 遊びの中で相手の思いに気付けるよう援助したことで、友だちの様子を気にするようになったり、肯定的な声掛けや安心できるよう手助けをしたりする中で、難しいことにも挑戦しようとする姿が多くみられるようになった。</p>
3歳	<p>自分でできるようになったことを自信に繋げて意欲的に行動できるように援助することができた。 友だち同士で「○○しよう」と誘い合う姿が見られた。保育教諭等と一緒にすることで少しずつルールを理解していた。 保育教諭等の見守りの中ではあるが、少しずつ話し合いをして友だち同士で折り合いをつけようとする姿が見られるようになってきた。</p>
2歳	<p>支度や着替えなど保育教諭等と一緒に取り組みながら、少しずつ自分でできた喜びを感じたり頑張ろうとする姿がたくさん見られた。 あそびの面では初めてのこともやってみようという気持ちをもって取り組む姿が見られ、繰り返し取り組むことでできるようになる事が増え子どもたちも達成感を感じ、進んで取り組む姿が見られた。</p>
1歳	<p>一人ひとりとの関わりを大切に、少人数で過ごす時間を作りながら安心して過ごせるよう関わった。 自分でやりたい気持ちや興味を受けとめ、挑戦できるよう見守り必要に応じて援助した。経験を重ねていく中で、自信に繋がり自己肯定感を育むことが出来た。 自我が芽生え、時にトラブルになることもあるが、その都度間に入り、互いに納得できるよう解決策を考えた。</p>
0歳	<p>一対一の関わりの中で気持ちに寄り添い、甘えをしっかり受け止めることで信頼関係を築いた。また職員間で情報を共有しながら、個々の状態を把握した。 年間を通し、運動あそびなどしっかり身体を動かすことを意識した。 食事の面では家庭と連携を図りながら、無理なく完了食へ移行できるようにした。</p>
給食	<p>春からたくさんの野菜の収穫をすることができ、園で出来た野菜を使ってクッキングもすることができた。食材調べを十分に組みめなかったため、来年度はたくさん機会を作ろうと思う。 菜園活動を通して、苗植え・水やり・収穫をすることで、野菜ができるまでにかかる時間や工程を知らせていくことができた。1つの野菜ができるまでの大変さやありがたさを伝えていった。</p>

未 来 園 東 深 津		<p>・基本理念・基本方針・目標に沿って計画をし実施出来た。</p> <p>・個々の発達面も考慮し丁寧な保育を行った。中でも保護者との連携は、家庭での様子を聞きながら園での様子を細かく伝え、保護者からの相談にも応じていきながら、無理のないよう個を認めていけるよう細やかな関わりを持っていけるよう、日々保育をした。</p> <p>・コロナ禍の中での行事だったが、クラス別で時間設定を工夫しながら行うことができた。夏まつりごっこでは、密を避けるため夕方のお迎え時に行い、親子での触れ合う時間がとれて良かった。ミニ発表会では、テーマは同じもので、クラスごとの時間設定で行った。舞台設定・観覧席は、昨年と違うところであったが、子どもが近くで見れて良かったという意見があった。</p>
	2 歳	<p>支度の習慣は身につけてきているが、遊びたい気持ちから何もせず玩具の方へ行く姿が見られる。環境構成を整え支度とあそびの場所を区切る工夫をした。それにより、少しずつ支度の習慣が身につけていく事が出来た。</p> <p>言葉で自分の思いを伝える事が出来るようになってはきているが、まだまだ、互いの気持ちを汲み取る事が出来ず、取り合いになり、トラブルに発展していく姿が見られた。保育者が仲立ちとなり「どうぞ」「ありがとう」のやりとりを伝えていき、解決に繋げていった。</p> <p>日々の保育の中で、手作りの手指あそびを取り入れたり、平均台、巧技台、トンネルくり、ケンケンパなどを取り入れ、運指動機能や指先の機能を高める事が出来た。</p>
	1 歳	<p>一人ひとりの気持ちを受け止める事により、安心して過ごす姿が見られた。ゆったりとした関わりの中で、保育者との信頼関係を築きながら、安心して過ごす事が出来た。</p> <p>身の周りの事に感心を持ち、保育者の援助や励ましのもと自信を持って意欲的に行う姿が見られた。環境構成では、コーナーを作りそれぞれの環境で落ち着いて遊べるよう配慮した。</p> <p>他児に関心を持ち、言葉で自分の思いを伝えようとする姿が見られた。</p>
	0 歳	<p>特定の保育者との関わりを深めて信頼関係を築き安心して生活できるよう、触れ合い遊びや、ゆったりとした環境づくりをした。特定の保育者との関わりを深めながら、友だちにも意欲的に関わろうとする姿が見られた。</p> <p>家庭との連携を密にしながら、離乳の完成・歩行・発語の成長を共有し、健やかな成長を促した。</p> <p>誤飲・転倒・転落などの事故の防止の為、クッション的な物を巻いたり、転倒しても痛くないようにマットを敷いたり、室内を走らないように空間を作る工夫をした。</p>
	給 食	<p>食育ではコロナ禍の中であった為、手作りの物は絵本などを読んで話をし、お団子などは、粘土を使って見立てて作った。菜園活動では、種まきから収穫までの生長を喜び、水やりなどをやり育てる楽しさを感じた。今年は、実りが少なく少しずつではあるが、給食で出してもらい喜んで食べる姿が見られた。秋には食材配達業者からさつまいもの葉・ツル付き芋をいただき、砂場を畑にして芋を植え、お芋堀りの経験ができよかった。来年は、子どもたちに色々な経験ができるよう、菜園活動・食育をする機会をたくさん作り、興味を持って楽しんで食育に興味を持てるようにしていきたい。</p>

大 門	<p><令和4年7月6日 我が子にクラスの友だちが続けて怪我をさせられている件></p> <p>保護者の帳面に、「我が子（本児）がA児につねられてあざになっている。どうしてこのようになったか教えてほしい。A児に指導をしてほしい」に書かれていた。担任が本児やA児に昨日の様子を聞いた。A児は日頃から本児と遊びたがる傾向にあり、その時も悪気があってつねったのではなく、遊び半分の気持ちであったことが分かった。本児の保護者に昨日の状況を伝えると共に、怪我を防ぐことができなかったこと、本児に嫌な思いをさせてしまったことを謝罪した。保護者からは以前にも本児が嫌な思いをしたことがあったと言われた。詳しく聞き、A児に対する今後の対応について園全体で話し合いをした。クラス担任としては、クラス全体で友だちを思いやること、傷つけないことなど子どもに分かるように話をし、グループ分けや席の場所などを考慮する、みんなで楽しいあそびをする、園全体では職員が連携し本児とA児をよく見守っていくなどの改善策を行った。</p>
今 津	なし
赤 い	<p><令和4年6月7日 一時預かりを連絡なしで断ってしまった件></p> <p>園の一時預かりを利用していたお子さんが、予約をしていた日に赤坂未来園の参観日が入ってしまったため、断りの連絡をしなければいけなかったが、職員同士での連携が取れず連絡をしていなかった。当日一時預かりに来られた保護者に対して「今日は参観日なのですいません。」と言って帰らせてしまった。その日の夕方、父親から電話があり、予約を入れたのに断りの連絡もなく、帰らされた。・次回の予約確認もされなかった。・電話を入れた際に保留になっておらず、職員の声が全部聞こえていた。この3点について言われた。</p> <p>直ちに現状と問題点について園全体で話し合いをした。話し合いの結果、予約に関わる手続きの仕組みを見直した（担当者、予約表、帰る時に次回の確認をする）。また、職員ひとり一人が相手の気持ちになって対応すること、電話口で相手を待たせるような場合は、いったん電話を切って折り返し電話をするなどを園全体で心がけていくようにした。その後、園長、副園長、主幹の3人で謝罪をした。今後このようなことがないように徹底してほしいと言われた。</p> <p><令和4年8月 園前の造成工事で大型車が駐車場まで入り、危険だった件></p> <p>園前の造成工事で詳しい説明もないまま工事が始まり、大型車が誘導者なしで園の駐車場まで入ってきて子どもの前を通ることがあり、怖い思いをされた方が多くいた。また、登降園のピーク時には車の渋滞が発生した。工事関係者の怒鳴り声が園に聞こえてくることもあった。これらのことがあり、保護者から苦情があった。工事施工主との話し合いの場を設け、園としてのお願いを持参した。翌日、工事施工主から回答書をいただいた。直ちに保護者役員会を開いて今回の件を報告するとともに、全家庭に経緯と今後についての手紙を配布し、園児の安全について再度啓発していった。</p>
東 深 津	なし

大 門 未 来 園	<p>① 保育環境整備（低年齢児園庭の整備など） 乳児園庭へ向かうウッドデッキスロープに床シートの貼り付けをおこない、安全に歩行ができるようにした。砂の補充や砂場用具やテーブル購入により遊びの充実につながった。保育行事内容を見直し主体的な子どもの活動につながった。</p> <p>② 新人教育、人材育成研修の取り組み。（パソナ研修・法人内研修・園内研修・新人研修の充実） 中堅職員向けの全5回のパソナ研修を行い人材育成とつながった。園ではオンライン研修を積極的に行い多くの職員が学ぶ機会となった。他クラスへ保育参加を行うことで指導を知り自分の学びとなった。</p> <p>③ SDGsへの取り組み。自然・資源を大切にす、省エネへの取り組み（保護者へのメール配信、エアコン修理など） 1歳児保育室手洗いシンクの設置、0～3歳児水道を自動水栓へ取り換え、2・3歳児保育室換気扇設置、一時預かり室天井型空調機取り換えを行い、省エネへ取り組んだ。コンポストを導入し給食室から出た野菜皮などから肥料作りを行った。</p>
今 津 未 来 園	<p>① 職員の資質向上に向け、研修などの活用と園内でのグループ討議の場の構築 コロナの状況に合わせ、実地研修やリモートで研修を受けた。アナフィラキシー、熱性けいれん、新型コロナについて、プール遊びに向けて心肺蘇生を学んだ。グループ討議の場としては、新人、新人指導者、3未3上リーダー会議、第三者評価自己評価小グループ討議など行った。どの会議も4.5人程度の少人数にして意見の出しやすい環境を作り活発に意見交換ができた。</p> <p>② 老朽化による修繕工事（プールの防水塗装と乳児園庭の人工芝張替えあひる組の床修繕） プールに防水塗装を行い、コンクリート面からケガをしにくい素材に帰ることができた。滑りやすい場所もあったのでゴム製のマットを敷き暑さ対策もあわせて行うことができた。あひる組の床修繕は行ったが、人工芝の張替えは次年度に持ち越しとなった。</p> <p>③ 児童クラブの運営内容の見直しと環境整備 職員を主軸として学生アルバイトを割り当てているが、大学と小学校の長期休暇の期間にずれがある為、学生が休みに入るまでのシフト調整が難しい。子どもとの関わり方やトラブルが起きた時の対応など、学生アルバイトでは抱えきれないことがある。保育士や資格をもった職員などの配置の必要性を感じた。</p>
赤 坂 未 来 園	<p>① 畑の環境整備、低年齢児用の園庭づくり 畑に行く出入り口を、避難車も通れるようにしたり、溝周りに転落防止用のネットを設置するなど、低年齢児も安心して畑に行き来できるような環境を整備した。畑は菜園だけでなく、虫取りや綱引きなどのあそびもできたり、園庭で5歳4歳児がボールや三輪車で遊んでいても低年齢児は畑でゆったりと遊ぶことができるようになった。</p> <p>② 職員間のチームワークを高めるために、職種を超えてエピソードトークをする機会をつくる 月に1～2回エピソードトークの会を設け、全職員が参加できるようにした。そのため、いろいろな職員の意見を聞くことができ、コミュニケーションをとることができるようになった。お互いの思いを知ることで、チームワークを高めることにも繋がった。</p> <p>③ 子どもの健康と安全管理の見直し ハザードマップを作成し、危険箇所を全員で周知するようにした。インシデントの集計・分析をすることで、危険に対する傾向を知ることができた。特に延長時の怪我が多かった為、職員で意見を出し合い保育や環境等の見直しを行うなどの対策をおこなった。</p>
未 来 園 東 深 津	<p>① 保育の質の向上のため、園内外の研修を活用する。職員間の連携を密にするため、会議を充実させる コロナ禍であったため、オンライン研修も多かったが、八葉会研修や姉妹園で実施された研修にも参加した。職員の連携では、職員会議で保育内容や個々の課題を取り上げ、職員が同じ方向を向いて協力していけるよう、話し合いを重ねた。</p> <p>② 子育てサークルを定期的開催し、保育園体験の機会の提供 コロナウイルス感染予防に努めながら、6月から子育てサークルを開始した。予約制で年齢別に行い、1・2歳児の参加はなかったが、0歳児の子どもの参加が数名あった。保育体験やベビーマッサージなど、参加した保護者から好評だった。</p> <p>③ 地域の情報収集をし、地域交流の機会をつくる。地域へ情報発信をする 子育てサークルの広告にあたり、近隣のスーパーマーケットなどに毎月チラシを設置させていただいた。来年も、多くの子育て家庭に広報ができるよう、情報発信を工夫していきたい。</p>

① 施設の状況

大 門	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳児クラスの手洗いシンクを取り替え、0～3歳児の水道を自動水栓に取り替えた。 ・2・3歳児クラスに換気扇を取り付けた。 ・低年齢児ウッドデッキスロープに床シートを取り付けた。 ・一時預かり室の天井型空調機を取り替えた。 ・メロンパンナちゃん像を送迎駐車場入り口に設置した。 ・送迎駐車場のアンパンマン像の設置場所の整備工事を行った。
今 津	<ul style="list-style-type: none"> ・電気錠の不具合が発生したため修理を行った。 ・1歳児クラスの保育室のフロアコーティングを行った。 ・屋外プールの防水塗装。 ・各部屋の出入口扉の取っ手と鍵を取り替えた。
赤 坂	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外プールに日よけのために開閉式のテントを設置した。 ・園庭から直接畑へ行くためのスロープを設置した。 ・テラス前に水たまりができないように、ゴムチップを設置した。 ・砂場の足洗い場を設置した。 ・トイレとテラス前の水道を自動水栓に取り替えた。
東 深 津	なし

② 施設整備・修繕・固定資産取得（100万円以上）

なし

③ 施設整備・修繕・固定資産取得（10万円以上）

	支払年月日	物 品 名	金 額
大 門	2022年7月15日	低年齢児ウッドデッキスロープ床シート貼工事	¥172,700
	2022年7月15日	デスクトップパソコン	¥137,060
	2022年8月15日	人形置き場整備工事	¥120,000
	2022年8月15日	手洗自動水栓取替工事	¥184,000
	2022年12月15日	手洗器設置工事（1歳児クラス）	¥640,000
	2022年12月15日	換気扇設置工事（3歳児クラス）	¥246,000
	2022年12月15日	換気扇設置工事（2歳児クラス）	¥224,000
	2022年12月15日	哺乳瓶用熱風消毒保管庫	¥206,800
	2023年1月13日	天井型空調機（一時預かり室）	¥616,000
	2023年1月13日	厨房空調機洗浄作業	¥176,000
	2023年2月15日	デスクトップパソコン	¥175,560
	2023年3月23日	シンキングアーチ（巧技台）	¥115,500
	2023年3月23日	初めてのシンキングセット（巧技台）	¥174,900
	2023年3月30日	メロンパンナちゃん像	¥118,000
今 津	2022年6月15日	エアフィーノ	¥185,200
	2022年6月15日	体温測定サーマルカメラみるるん（卓上）	¥237,000
	2022年7月15日	アルミ避難車スリム（メッシュ）	¥161,700
	2022年7月15日	厨房IHインバーター交換工事	¥181,500
	2022年7月15日	手洗用水栓自動水栓取替工事	¥191,400
	2022年7月15日	屋外プール塗装	¥946,000
	2022年7月15日	床研磨、フロアコーティング	¥999,300
	2022年10月14日	マリンバ（こおろぎ教育用650R）	¥325,600
2023年3月20日	各引違戸鍵改修工事	¥550,000	

赤坂	2022年4月15日	ファニチャーロッカー（2歳児クラス）	¥560,000
	2022年6月15日	開閉式日よけテント	¥650,000
	2022年6月15日	ワイヤレスアンプ	¥152,000
	2022年7月15日	体表温度計測サーマルカメラ	¥255,000
	2022年7月15日	足洗場設置工事	¥440,000
	2022年7月15日	西側スロープ設置工事	¥390,000
	2022年8月13日	手洗用水栓自動水栓取替工事	¥407,000
	2022年10月13日	ヤマハ立奏木琴	¥154,000
	2022年10月13日	デスクトップパソコン	¥118,800
	2022年10月13日	ノートパソコン（5歳児クラス）	¥109,780
	2023年3月30日	ゴムチップ施工工事	¥990,000
東深津	2022年3月15日	玩具殺菌乾燥保管庫	¥257,488
	2022年11月15日	AED	¥190,300

④ 契約の状況（100万円以上）

	契約日	物品名	金額
	2022年3月25日	職員資質向上研修（株式会社パソナ）	¥1,485,000